

# 平成21年度のごみ・資源物の収集実績がまとまりました。 ごみ・資源物はさらに減量を達成しました。

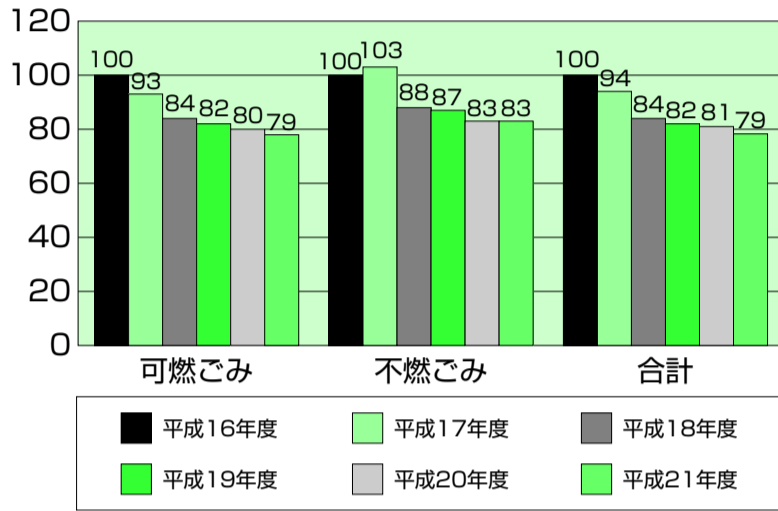
市民のみなさまのご理解とご協力により、平成21年度もさらなるごみの減量を達成しました。平成17年10月のごみの有料化以降は毎年着実に減量しています。しかし、ごみ処理施設の安定稼働や最終処分場の延命化をさらに推進していくためには、ごみの分別と排出抑制を進めていく必要があります。ごみの減量にゴールはありません。今後もみなさまのご協力をお願いいたします。

また、資源物の収集量も減量を達成することができました。市民のみなさまの発生抑制の取り組みや簡易包装の進展などにより、家庭に入ってくる資源物の量が減ってきていることが数字として表れています。資源物を再資源化するためには多くのエネルギーと多額の費用を要しますので、これから資源物の収集量を減らしていくことが大切です。市民のみなさまには、ごみの減量とともに資源物の減量にもご協力いただきますようお願いいたします。

(単位：t)

	可燃ごみ	不燃ごみ	合計
平成16年度	15,684	1,120	16,804
平成17年度	14,625	1,148	15,773
平成18年度	13,099	982	14,081
平成19年度	12,866	979	13,845
平成20年度	12,606	929	13,535
平成21年度	12,349	931	13,280

### ごみ収集量の推移 (平成16年度を100とする)



	資源物 (t)	総資源化率 (%)
平成16年度	4,537	30.8
平成17年度	5,183	33.8
平成18年度	5,249	38.9
平成19年度	5,174	38.5
平成20年度	4,784	38.1
平成21年度	4,674	38.3

### 資源物収集量の推移 (平成16年度を100とする)

